

二月の花と言えば、梅。ということで今日は梅の話です。中国でも梅は愛されてきましたが、日本でも古代は花見という桜ではなく梅を見ていたのだそうです。

寒さにたえて、まだまだ風も冷たい中でかわいらしく咲く姿はけなげですね。見る人の心にも、春の訪れをつげてくれます。そして、その香り。上品な甘い香りはバラやスイセンとはまたちがうすてきな香りです。まだ嗅いだことがないという人はぜひ嗅いでみてください。

そして、むかしから梅は実も大切にされてきました。みなさんも梅干しを知っていますよね。塩だけでおいしい保存食になるのですからかんたんです。最近ジップロックでつけるやり方もあり、とてもおいしくつかるので、一度みなさんもためしてみてもどうでしょう。白いごはんにびったりの、しかも体によいむかしからの一品です。

それから、「梅肉エキス」。これは梅をことことにつめたもので、ものすごくすっぱいのですが、おなかが痛いときなどになめるとよくきく黒い常備薬でした。

CMでもやっていますが、梅酒もつくることが出来ます。みなさんは未成年なので飲むことはできませんが、もしかするとこれを好きなおうちの方がおられるかもしれませんね。梅ジュースはさとうだけで作れます。

京都市内には北野天満宮や梅の宮神社、御所、植物園など梅の名所がありますが、少し市外に足をのばしてみると、青谷の梅林や月ヶ瀬の梅林などもあります。

四月のお花見もいいですが、一足早く、古代人の気分を味わって、梅のお花見にでかけるのもいいかもしれませんよ。梅以外にもきつと新しい発見があることでしょう。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

② 梅から作れるけれど、みなさんがまだ飲めないものは何ですか？

③ 梅と塩で何を作ることができますか？

④ 梅をにつめると何ができますのですか？

⑤ 梅肉エキスは何にきくのですか？

⑥ みなさんにも飲める、梅からできるものは？

⑦ 梅ジュースをつくるには梅以外になにがひつようですか？

（ ） しょうゆ （ ） さとう

（ ） きなこと （ ） しお

⑧ 梅の花は見るだけでなくぜひどうしろと書いてありますか？

（ ） 味わえ （ ） 嗅げ （ ） 梅干しを作れ

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ） 月ヶ瀬や青谷は京都市内ではない。

（ ） 古代人は薬屋で梅肉エキスを売っていた。

（ ） 梅の宮神社は京都市内ではない。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できればは？

